

北海道大学「社会体験ワークショップ」によるキャリア教育

～地元企業10社による学生参加型
授業を解説し、開講をサポートします～

大和総研

June. 23, 2022



大和総研 宇野 健司
北海道大学 平本 健太

自己紹介

■ 宇野 健司

- 大和総研リサーチ本部
副部長
- ニューヨーク市立大学大学院
(MBA) 修了
- 証券アナリストジャーナル賞受賞
- 東京大学(教養学部), 北海道大学(全学教育部・経済学部), 東北大学(経済学部・文学部), 上智大学(総合グローバル学部) 講師



■ 平本 健太

- 北海道大学大学院
経済学研究院・教授
- 北海道大学・地域経済経営
ネットワーク研究センター長
- 専門分野: 経営学
- 研究テーマ: ①ビジネスシステムと競争優位, ②NPO, 政府, 企業間の戦略的協働, ③非営利法人制度改革の実証研究



本日のコンテンツ

- 本当のキャリア教育とは
- 社会体験ワークショップ
- キャリアワークショップ
- 社会は何を求めているのか
 - 「30・30・30の法則」
- 若者を成長させる3つの機会
- 実現にあたっての苦労や課題

本当のキャリア教育とは

■ 基本的な考え方

就活講座ではなく、**地域**社会で
学生を育てる

■ これまで

- 就活講座を行う or 全然やらない

■ 今後

- 社会や働き方を知る + 主体性を引き出す

社会体験ワークショップ

- 地元企業など10社
- 実務家教員
- 会社説明ではなく、仕事で得た教訓・学び
- プレゼン30分 + Q&A60分（全員挙手）
- 会社が毎回課題3つ→会社が回答
- 出席ではなく、授業参加で成績評価

今年度のスケジュール

- 4/12 オリエンテーション
- 4/19 (株)調和技研
 - 北大発ベンチャーの挑戦, AIの社会実装
- 4/26 (株)アインHD
 - 自分らしいキャリアを実現するために
- 5/10 石屋製菓(株)
 - 「白い恋人」とSDGs
- 5/17 特別セッション 1
 - 自分の人生設計を考えよう
- 5/24 北海道
 - 関係人口の創出・拡大に向けたワーケーション
- 5/31 (株)北海道電力
 - ほくでんグループのESG・SDGsに関する取り組み
- 6/7 (株)セコマ
 - 自身のキャリア/地域との取り組み
- 6/14 (株)ニトリHD
 - 自分で創る, 自分のキャリア

今年度のスケジュール (cont.)

- 6/21 ホクレン農業協同組合連合会
 - 作る人を幸せに 食べる人を笑顔に
- 6/28 (株)北海道新聞社
 - 北海道新聞DX!
- 7/5 (株)北洋銀行
 - 地域金融機関による地域の課題解決
- 7/12 特別セッション 2
 - 自分のキャリア設計を考えよう
- 7/19 ゲスト企業とのセッション1
- 7/26 ゲスト企業とのセッション2
- 8/2 まとめ

どこでも実現可能なレシピ

- 会話力の高い教員 1名
 - コーディネーター役
- 地元の金融機関 1社
 - 地元企業に声をかける役
- 地元企業 10社
 - 学生に親身な講師を派遣
- 全学共通科目 1コマ
 - 若い学年対象（1～2年生）
- シラバス（テンプレート）

📌 授業の目標

- (1) 3者対談形式で講師・コーディネーター・ゲストが実社会の課題や展望について毎回ディスカッションします。
- (2) そのディスカッションに学生が加わり、当事者意識をもって解決策と一緒に検討します。
- (3) 講師・コーディネーター・ゲストの体験談をもとに「キャリア」についてもアドバイスします。（留学、就活、転職、専門能力）

ゲスト企業として、北海道を代表する下記の10社に登録して頂く予定です。

「北洋銀行」「ニトリ」「北海道電力」「セイコーマート」「北海道庁」「ホクレン」「北海道新聞」「アイン薬局」「石屋製菓」「調和技研」

📌 到達目標

ディスカッションを通じ、「自分の意見を堂々と表明する」「他人の意見を尊重し、誠意を持って傾聴する」「批評・批判よりも、問題解決型の前向きな意見交換を行う」「柔軟かつ適切に議論をまとめる」など、社会人になってからも必要なコミュニケーション・スキルを育成します。

また講師の体験談（就職活動、海外留学、専門スキル習得、会社の実務と仕事のやり方など）をもとに、「将来のキャリアをどう築いて行けば良いのか？」などについても、現実的なアドバイスを与えます。

授業の目標は、以下の3点に集約されます。

- (1) ディスカッション・スキルを身につける
- (2) 地方創成やSDGsを通じて自分のキャリアを考える
- (3) 講師・コーディネーター・ゲストから刺激を受け、意識を高め、一緒に学び合える友好的なコミュニティを作る

📌 授業計画

- 第1回 オリエンテーション
- 第2回 ゲスト企業①
- 第3回 ゲスト企業②
- 第4回 ゲスト企業③
- 第5回 自分の人生設計を考えよう（セッション）
- 第6回 ゲスト企業④
- 第7回 ゲスト企業⑤
- 第8回 ゲスト企業⑥
- 第9回 自分のキャリア設計を考えよう（セッション）
- 第10回 ゲスト企業⑦
- 第11回 ゲスト企業⑧
- 第12回 ゲスト企業⑨
- 第13回 ゲスト企業⑩
- 第14回 ゲスト企業とのセッション①

キャリアワークシヨツプ

- ケース・ディスカッション10回
- 毎回3人が司会，学生30人でローテーション
- 問題発見→解決策→今日の教訓
- 教員は最後の20分だけコメント
- 出席ではなく授業参加で成績評価
 - 社会体験ワークシヨツプと同様

社会で必要な基礎力30・30・30

- 知的な能力≡学力・思考力 <30点>
- 人間力≡人と良い関係を作る力 <30点>
- 行動力≡主体性, 積極性, 自発性 <30点>
- その他 <10点>

■ 質問

- 質問A(過去) 小中高大と, 3つを意識して鍛えましたか?
- 質問B(現在) 自己採点してください. 何が足りないですか?
- 質問C(未来) 3つを鍛える「習慣」は身につきましたか?

若者を成長させる3つの機会

- 入試→学外体験(留学など)→就活
- ホップ→ステップ→ジャンプ

実施にあたっての苦労や課題

- COVID禍のなかでの、全学教育方針の決定の遅れ
- 「講師はオンライン、学生は教室」の矛盾
- 「地域で学生を育てる」ための大学間連携の壁
- 大学はお役所組織
 - すぐには変わらないが、働きかけを続ければいずれ変わる
- 継続的に実施する場合、協力してもらえる地元企業は潤沢にあるのか
 - 地元金融機関だけではなく、同窓会組織などの連携もあり？